

現地視察学習会参加者による公開授業について

現地視察学習会の成果を活用していくひとつの方法として、公開授業があります。

1 公開授業とは

現地視察学習会（根室訪問）参加者が、学習会の成果についての授業を行い、根室訪問参加者、教育者会議委員等が原則としてその授業を参観できるようにするもの。

2 目的

根室訪問参加者、教育者会議会員等教育者間で情報共有を行い、より良い啓発へと繋げていくことを目的とする。

3 公開授業の実施について

公開授業の実施にあたっては、事務局が各教職員の実施日等の取りまとめを行い、教育者会議の委員及び学習会参加者に周知を行う。

4 提出資料について

現地視察学習会参加予定者で公開授業を行う場合は、学習会終了後、以下の書類の提出を行う。

【提出書類】

授業の略案

A4サイズ×1枚以上、授業の流れが分かるもの。（任意様式）

（より詳細な授業案も可、配布資料があればそれも合わせて提出を行う。）

※公開授業終了後は、別紙「現地視察学習会（根室訪問）活用実施報告票」をご提出ください。